

特殊文字（数学記号など）の入力

2022年4月19日

高増計測工学研究所

東京大学 名誉教授 高増潔

<https://www.takamasu-lab.org/>



利用上の注意

- このファイルの内容, 表現, 図 (高増潔が作成したもの : ©takamasu-lab) は自由に使ってください
 - 改変, コピーなどは自由です
 - 特に許可, コピーライトの表示などは不要です
- 引用している図については, 引用元の規則に従ってください
 - 講義での資料としては, 自由に使えると思います
 - wikipedia関係は, パブリックドメインになっているものは自由に使えます
 - フリー素材は, フリーです
 - それ以外は, 引用元の提示が必要になります
- もしも, お気づきの点, 間違い, 感想などがあれば, 以下にメールしてください. 対応するかは, 状況によります.
 - takamasu@pe.t.u-tokyo.ac.jp



特殊文字：数学記号など（Times New Roman）

- 以下の記号を使うときは、挿入→記号と特殊文字から選ぶよりこれを張り付けるほうが早い

- マイナスや°Cは、以下を使うほうがきれいになる
- PowerPointでは、Times New Romanでは一部のフォントがない？（×とか±とか）→例えばCambria Mathを使うとよい

- マイクロ： μ
- °C： $^{\circ}\text{C}$
- マイナス： $-$
- かける： \times （MS明朝） Cambria Math \times
- プラスマイナス： \pm （MS明朝） Cambria Math \pm
- 点： \cdot
- 他の数学記号： $\sqrt{\infty} \approx \neq \leq \geq \partial \prod \sum | \ll \gg$
- ウムラウト： $\ddot{a} \ddot{e} \ddot{o} \ddot{u} \ddot{A} \ddot{E} \ddot{O} \ddot{U} \beta$
- ギリシャ文字小文字： $\alpha \beta \gamma \delta \varepsilon \zeta \eta \theta \iota \kappa \lambda \mu \nu \xi \omicron \pi \rho \varsigma \sigma \tau \upsilon \phi \chi \psi \omega$
- ギリシャ文字大文字： $\text{A B } \Gamma \Delta \text{E Z H } \Theta \text{I K } \Lambda \text{M N } \Xi \text{O } \Pi \text{P } \Sigma \text{T Y } \Phi \Psi \Omega$

